

# 国立国語研究所「外来語言い換え提案」について (Ⅱ)

## ～第2次アンケート調査の結果と分析～

梶 村 清安子

### 1. はじめに

外来語は、既に日本語として定着しているものも多く存在しているが、近年は日本語の中の外来語の増加が問題にされている。専門領域で使われていた語がそのまま一般社会に流出したり、公的な文書、多くの人を対象とする新聞・放送等にも目新しい外来語が使われている。そのために、日本語によるコミュニケーションが阻害され社会的な情報が共有できない、世代間のコミュニケーションの障害になる、表現があいまいになって的確に意思が伝わらない、外国人の日本語理解の障害になる、さらに皮肉にも日本人の外来語習得の障害になる等の問題が起こる。

国立国語研究所「外来語」委員会（以下「国研」と略）は、公共性の高い媒体で使われている分かりにくい外来語について、分かりやすくするための言葉遣いの工夫を提案し、第1回（2003年4月、62語）、第2回（2003年11月、47語）、第3回（2004年10月、32語）、第4回（2006年3月、35語）の計4回の言い換え提案を発表した。

梶村（2005）は第1回、第2回言い換え提案で取り上げられた外来語の中で新聞紙面に多く出現した語を抽出し、外来語/言い換え語に関するアンケートを実施した。本稿では第3回言い換え提案で取り上げられた外来語に関して以下の項目について検討した。

1. 第3回言い換え提案で取り上げられた外来語の言い換え提案発表前と発表後における新聞での出現状況を見る。
2. 言い換え提案で示された言い換え語と外来語の選択率（年代別・男女別）をアンケート形式で調査する。
3. 外来語の新しさ・古さと、使用する年代との間に関連を見るために、外来語辞典での初出収録状況も調査する。

### 2. 新聞における外来語の出現状況

多くの人々が毎日のように目にする新聞紙面で、第3回言い換え提案の外来語が、言い換え提案発表前と発表後で出現状況に変化があるか否かを知るために朝日新聞西部本社発行の朝刊（スポーツ欄を除き広告欄を含む<sup>註1</sup>）を利用して、発表前の2004年4月～9月、発表後の2004年10月～2005年3月のそれぞれ6ヵ月間調査したものを次の〈表1-1〉〈表1-2〉に示す。表中の「意味説明の有無」の「有」は、例えば、新聞紙面に「ガイドライン(指針)」「指針(ガイドライン)」「指針いわゆるガイドライン」の3通りの表記の仕方があったが、いずれの場合も「意味説明有」とした。「無」は意味説明が付されず外来語のみで出現した場合である。「辞

典における初出年」は、1972年から2005年の約30年間に発行された7冊の外来語辞典(参考文献参照)を使用して初出収録状況を調査したものである。

<表1-1> 発表前のみ出现过した外来語の出現状況

意味説明の有無	○	×	辞典における 初出年
アカウンタビリティ	1	0	1987
カウンターパート	1	1	1994
サブライサイド	0	5	2005
セーフガード	11	4	1972
セットバック	0	4	1987
ポートフォリオ	0	2	1972
ボトルネック	0	4	1972
モビリティ	2	2	1987
ロードプライシング	1	0	未出
合計	16	22	
出現率	42.1	57.9	

<表1-2> 発表前/発表後に出现过した外来語の出現状況

意味説明の有無	発表前		発表後		辞典における 初出年
	有	無	有	無	
インシアチブ	1	23	0	22	1972
ガバナンス	7	4	6	7	2005
コンフェレンス	1	1	0	11	1972
コンプライアンス	27	14	20	19	1987
スキル	0	6	0	7	1987
スタンス	0	25	0	8	1972
ステレオタイプ	0	8	0	7	1972
ソリューション	1	7	0	14	1987
ツール	0	7	0	9	1972
デジタルデバイド	2	3	0	2	2005
デフォルト	4	0	0	1	1987
ドクトリン	0	3	0	2	1972
ハザードマップ	3	8	2	8	1994
パブリックコメント	1	10	2	9	2005
プライオリティー	1	0	0	3	1987
ブレイクスルー	1	3	0	4	1994
プレゼンス	1	8	1	10	1994
フロンティア	1	7	1	9	1972
マンパワー	0	5	0	4	1972
ミッション	3	9	0	6	1972
ユニバーサルデザイン	1	20	1	35	2005
リテラシー	1	13	0	9	1987
合計	56	184	33	206	
出現率	23.3	76.7	13.8	86.2	

<表1-1>の発表前のみに出現した9語の出現率は意味説明有り42.1%、意味説明無し57.9%で意味説明無しの出現率が上回っている。<表1-2>の発表前、発表後の両方に出現した22語では、意味説明有りは発表前23.3%、発表後13.8%である。発表後の方が意味説明有りの語の出現率が低く、意味説明無しの語の出現率が高くなっている。国研の言い換え提案の影響は見られない。

第3回言い換え提案32語のうち、パブリックインボルブメントは調査期間中新聞紙面に出現しなかったため、上記の表中には入れていない。

### 3. アンケートによる言い換え語/外来語使用実態

一般読者は外来語と言い換え語が示されている場合、どちらを選択し、使用するのであろうか。また、その選択・使用に関して年代や男女によって差があるか否かをアンケート形式で2004年12月～2005年1月に調査した。

#### 3-1 調査方法

<表1-2>で新聞に多く出現した「イニシアチブ」「コンプライアンス」「スタンス」「ステレオタイプ」「ハザードマップ」「パブリックコメント」「プレゼンス」「フロンティア」「ミッション」「ユニバーサルデザイン」「リテラシー」の11語の外来語を抽出した。<表1-2>では「ソリューション」「ツール」も多く出現しているが、アンケート実施後に新聞に多く出現した語であるためアンケートの抽出語には入っていない。

国研の作成した冊子や新聞記事から採った例文中に言い換え語/外来語を併記し、文章内で言い換え語と外来語のどちらを選択・使用するかという二者択一方式をとった。抽出した語の中に複数あった言い換え語も加えたので、例文は15となった。以下にアンケート回答者の内訳を示す。アンケート用紙は別添資料①を参照。

<表2>年代別内訳

(単位：人)

年代 性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代～	合計
男性	426	329	56	94	89	60	1,054
女性	465	367	108	183	128	55	1,306
合計	891	696	164	277	217	115	2,360

<表3>職業別内訳(単位：人)

学生	公務員 教員	会社員	自営業 サービス業
1408	300	180	144
主婦	無業 その他		
143	185		

<表4>出身地別内訳

(単位：人)

山口	福岡	広島	長崎	島根	岡山	宮崎	鳥取	熊本	兵庫	大分	佐賀	大阪	愛媛
738	249	241	163	152	123	95	80	76	68	66	48	36	27
香川	北海道	鹿児島	高知	沖縄	愛知	静岡	東京	奈良	京都	滋賀	石川	千葉	神奈川
25	21	20	13	13	12	11	9	8	7	7	6	6	6
長野	岐阜	和歌山	徳島	青森	福井	三重	富山	埼玉	茨城	秋田	新潟	群馬	
4	4	4	4	3	3	3	2	2	2	1	1	1	1

<表2>に示すように男性より女性の回答者が若干多かった。年代別内訳では10代、20代に集中しているが、他の年代も100名を超えた。<表3>の職業別内訳では学生が半数以上を占

めた。〈表4〉の出身地別内訳では山口県が多かった。

### 3-2 調査結果と分析

#### 3-2-1 言い換え語/外来語使用における年代別集計結果

言い換え語と外来語のどちらを選択・使用するかというアンケートの結果を次の〈表5〉に示す。語の前にある番号はアンケートの番号である。1～15の調査項目のうち、「ミッション」は1と5に、「イニシアチブ」は4と9に、「リテラシー」は6と10に、「ハザードマップ」は13と15にそれぞれ重複している。国研の「言い換え提案」に言い換え語が複数提示してあったものを別々に調査したためである。

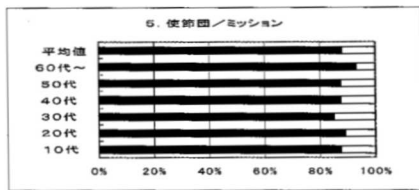
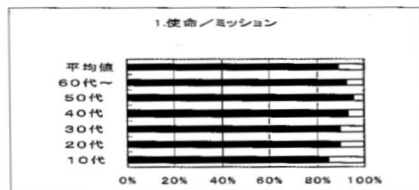
〈表5〉言い換え語/外来語使用における年代別集計結果

(単位：%)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代～	平均値
1 A.使命	84.8	89.9	89.6	93.1	95.4	92.2	89.0
B.ミッション	15.2	10.1	10.4	6.9	4.6	7.8	11.0
2 A.法令遵守	78.6	71.4	73.8	74.4	76.5	92.2	76.1
B.コンプライアンス	21.4	28.6	26.2	25.6	23.5	7.8	23.9
3 A.立場	52.7	52.6	47.6	47.3	44.2	70.4	51.8
B.スタンス	47.3	47.4	52.4	52.7	55.8	29.6	48.2
4 A.発議	66.8	64.2	43.3	41.2	40.6	60.0	58.6
B.イニシアチブ	33.2	35.8	56.7	58.8	59.4	40.0	41.4
5 A.使節団	87.7	89.2	84.8	87.7	87.6	93.0	88.2
B.ミッション	12.3	10.8	15.2	12.3	12.4	7.0	11.8
6 A.読み書き能力	69.4	71.7	78.7	86.6	91.7	92.2	75.9
B.リテラシー	30.6	28.3	21.3	13.4	8.3	7.8	24.1
7 A.万人向け設計	18.5	21.4	18.9	24.2	38.7	66.1	24.2
B.ユニバーサルデザイン	81.5	78.6	81.1	75.8	61.3	33.9	75.8
8 A.意見公募	77.6	79.6	76.2	78.0	84.3	86.1	79.2
B.パブリックコメント	22.4	20.4	23.8	22.0	15.7	13.9	20.8
9 A.主導	70.8	74.0	62.8	61.4	62.2	73.0	69.4
B.イニシアチブ	29.2	26.0	37.2	38.6	37.8	27.0	30.6
10A活用能力	66.2	58.6	63.4	79.1	84.8	92.2	68.3
B.リテラシー	33.8	41.4	36.6	20.9	15.2	7.8	31.7
11A.存在感	83.2	87.1	84.1	90.3	88.5	90.4	86.1
B.プレゼンス	16.8	12.9	15.9	9.7	11.5	9.6	13.9
12A.紋切り型	21.5	19.0	37.8	56.0	67.7	70.4	32.6
B.ステレオタイプ	78.5	81.0	62.2	44.0	32.3	29.6	67.4
13A.災害予測地図	51.0	50.3	46.3	54.2	58.5	72.2	52.5
B.ハザードマップ	49.0	49.7	53.7	45.8	41.5	27.8	47.5
14A.新分野	36.6	45.4	48.8	64.6	72.8	80.0	48.8
B.フロンティア	63.4	54.6	51.2	35.4	27.2	20.0	51.2
15A.防災地図	52.0	51.0	53.0	57.0	59.4	73.0	54.1
B.ハザードマップ	48.0	49.0	47.0	43.0	40.6	27.0	45.9

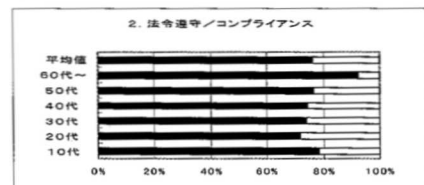
次に個々の語について全体の選択率、年代別の選択率を見ていく。グラフ内の■は「言い換え語」を示し、□は「外来語」を示す。記述中にある辞典は『コンサイス外来語辞典』『コンサイスカタカナ語辞典』を指す。

#### ① 使命・使節団/ミッション



言い換え語の「使命」「使節団」のいずれも8割以上の高い選択率を示した。「ミッション」は1972年の辞典には「(キリスト教の)伝道、伝道団体、布教区」の訳語のみが収録されている。言い換え語と同じ「使命、任務」「使節団、代表団」の訳語が収録されるのは2005年の辞典である。「使命」「使節団」の意味で「ミッション」が使用されることは少ないようである。

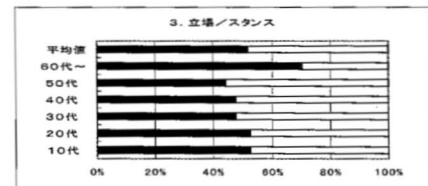
## ② 法令遵守／コンプライアンス



すべての年代で70%以上、特に60代以上は90%を越える選択率で言い換え語を選択している。「コンプライアンス」は1987年の辞典に「服従、承諾」という訳語が収録されている。2005年の辞典で「法令遵守」「服薬遵守」が加わる。「法令遵守」の意味での「コンプライアンス」は比較的新しい借入語であり、まだ外来語としては浸透しているとは言えない。

比較的新しい借入語であり、まだ外来語としては浸透しているとは言えない。

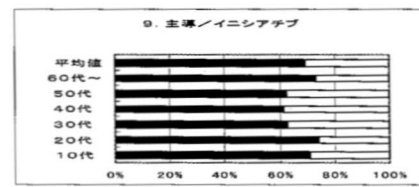
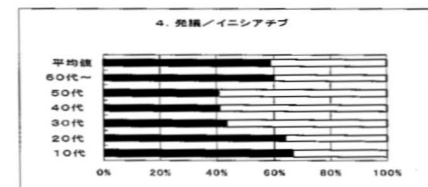
## ③ 立場／スタンス



全体の選択率はほぼ半々であった。10代、20代より30代～50代の方が「スタンス」の選択率が若干高く半数を超えていた。60代以上は言い換え語を7割選択している。「スタンス」は1972年の辞典では「(野球の)両足の幅、位置」の訳語のみであるが、1994年の辞典で「ある問題に

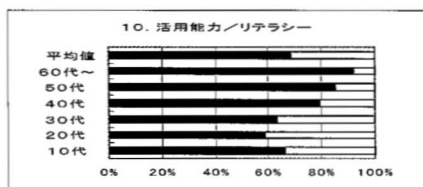
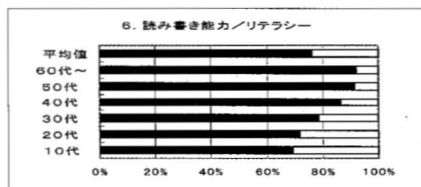
に対する位置、態度、姿勢」の訳語が加わる。「スタンス」という語自体は新しい借入語ではないが、60代以上は言い換え語の「立場」という意味で「スタンス」を使用することは少ないようである。

## ④ 発議・主導／イニシアチブ



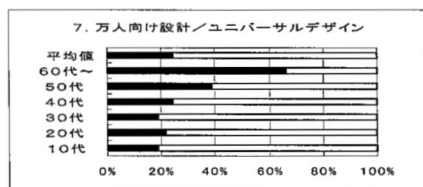
全体では言い換え語の方が選択率が高い。「発議」は年代で差があり、10代、20代、60代では6割強選択されているが、30代、40代、50代では逆に「イニシアチブ」が約6割選択されている。「主導」はどの年代も6割から7割強選択している。30代～50代は他の年代と比較して「イニシアチブ」を使用する傾向が見られる。

### ⑤読み書き能力・活用能力／リテラシー



全体としては、言い換え語の方の選択率が高く、どの世代も言い換え語の方を多く選択している。言い換え語の選択率は年代に大体比例している。「リテラシー」の辞典での初出は1987年で訳語は「読み書き能力、識字率」で、「(情報)活用能力」が加わるのは2005年の辞典である。辞典に「(情報)活用能力」とあるように、コンピューターと関連が深い語であるためか、コンピューターとかかわりのある年代は「活用能力」の意味合いで「リテラシー」を使用するようだ。

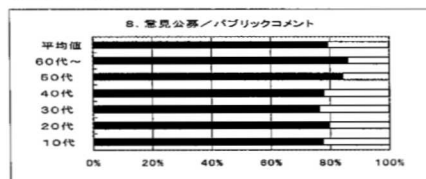
### ⑥万人向け設計／ユニバーサルデザイン



全体では「ユニバーサルデザイン」の選択率は言い換え語より高く7割を超えていた。アンケートで最も選択率が高かった外来語である。60代以上のみは「万人向け設計」の方の選択率が高かった。10代～40代は2割前後しか言い換え語を選択していない。若い年代はなじみのない

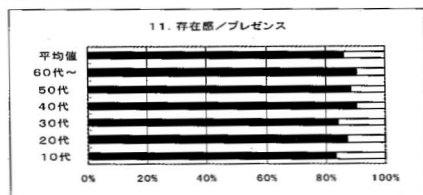
「万人向け設計」よりなじみのある「ユニバーサルデザイン」を選択したのであろう。「ユニバーサルデザイン」は2005年の辞典が初出で、訳語は言い換え語と同じである。

### ⑦意見公募／パブリックコメント



どの世代からも言い換え語の「意見公募」が「パブリックコメント」より多く(8割程度)選択された。「パブリックコメント」は2005年の辞典に「意見公募」という訳語で収録されたのが最初である。自治体の広報紙などに出現しているが、まだ浸透していないようだ。

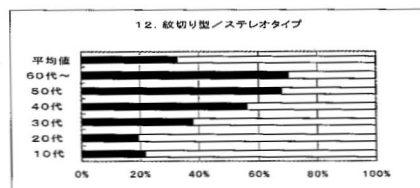
## ⑧存在感／プレゼンス



えて使う必要性が感じられないからであろう。

言い換え語の「存在感」がどの年代からも8割以上選択されている。「プレゼンス」は1994年の辞典に「存在、出席」という訳語はあるが、「存在感」は2005年の辞典で初めて現れる。「プレゼンス」の選択率が低いのは、「プレゼンス」が新しい概念を表現しているわけではなく、あ

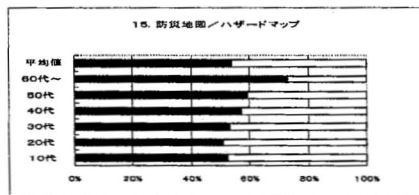
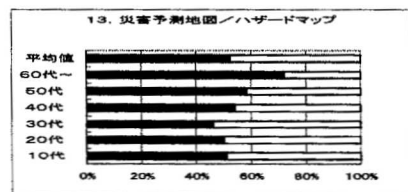
## ⑨紋切り型／ステレオタイプ



「ステレオタイプ」の全体の選択率は言い換え語の「紋切り型」を上回って7割弱であった。年代別に見るとはっきり二分されている。10代～30代は「ステレオタイプ」の方を多く選択し、40代で逆転し、50～60代以上は言い換え語の「紋切り型」の方を多く選択している。「紋切り型」は紋形を切り抜くための型で、一つの型から同じものを作ることができることから転じて「決まりきった形式」の意味も持つ。一方「ステレオタイプ」は同じものを刷り上げることができる「鉛版」から「紋切り型」の訳語が加わった。「紋切り型」の「紋」に日常生活で接することが少ない特に若い世代にとって、言い換え語の「紋切り型」という言葉にはなじみがないと思われる。

「ステレオタイプ」の全体の選択率は言い換え語の「紋切り型」を上回って7割弱であった。年代別に見るとはっきり二分されている。10代～30代は「ステレオタイプ」の方を多く選択し、40代で逆転し、50～60代以上は言い換え語の「紋切り型」の方を多く選択している。「紋切り型」

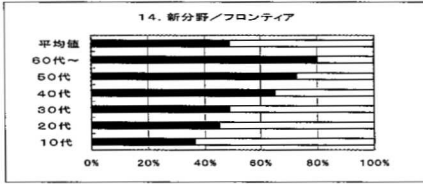
## ⑩災害予測地図・防災地図／ハザードマップ



全体としては「ハザードマップ」と言い換え語の選択率の差はほとんどなく言い換え語の方が若干高かった。60代以上はどちらの言い換え語も7割強選択していた。「ハザードマップ」は新聞、テレビでよく見聞きする借入語であるが、高い年代ではあまり使われないようだ。「ハザードマップ」は1994年の辞典に「災害予測図」「緊急避難地図」という訳語や、「災害時の避難経路を示した地図」といった解説的記述があるが、「防災地図」はない。

## ⑪新分野／フロンティア

全体としては「フロンティア」と言い換え語の選択率はほぼ半々の結果となった。10代～30



ある。

### 3-2-2 男女別による集計結果

次の<表6>は言い換え語と外来語の使用率を男女別に集計したものである。

<図6>男女別による言い換え語／外来語の総合使用率

(単位：%)

	男性	女性
A 言い換え語	61.7	65.2
B 外来語	38.3	34.8

<表6>に示したように、男性、女性とも言い換え語の方を6割以上選択し、男女による差は見られなかった。

### 3-2-3 アンケートにおける意見

アンケートの自由記述欄の意見では、漢語・和語の方を支持する意見と外来語の方を支持する意見の二つに大別されるが、外来語より漢語・和語を支持する意見が圧倒的に多かった。

#### A. 漢語・和語を支持する意見

「カタカナ語は分かりにくい、難しい、苦手である」167件

「漢字の方が分かりやすい、意味が推測できる、なじみがある」100件

「カタカナ語を使わずに日本語を使うべきだ」37件

「カタカナ語はあいまいなので、あまり使わない」29件

#### B. 外来語(カタカナ語)を支持する意見

「カタカナ語の方が言い易い、分かりやすい」25件

「漢字は堅いイメージがある。漢字は難しい」14件

「カタカナ語を使うと最先端をいっている感じがして、かっこいい」5件

「あいまいさを表すときはカタカナ語を使う」3件

「カタカナ語はあいまいなのであまり使わない」に対し、「あいまいさを表すときはカタカナ語を使う」という逆の意見も見られた。「ある程度概念として浸透しているものは受け入れていくべきだろう」と条件付きで外来語を受け入れることに賛成する意見もあった。また、「外来語だけでなく言い換え語もよく分からない」(233件)という意見があった。「外来語の使用はマスメディア等の影響が大きい」(52件)という意見や「行政の使用用語にカタカナ語が多い」という批判もあった。



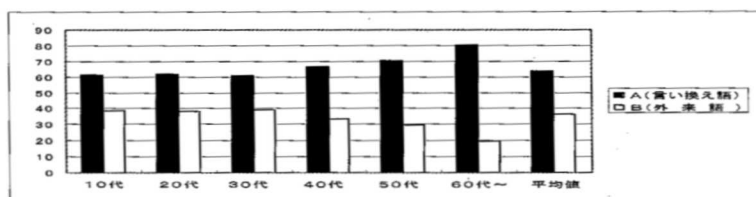
## 3-2-4 まとめと考察

言い換え語と外来語の選択・使用率を年代別に集計すると<表7>のようになる。<図1>は<表7>をグラフ化したものである。

&lt;表7&gt;年代別集計結果

(単位：%)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代~	平均値
A(言い換え語)	61.2	61.7	60.6	66.3	70.2	80.2	63.6
B(外来語)	38.8	38.3	39.4	33.7	29.8	19.8	36.4



&lt;図1&gt;年代別集計結果

<表7>に示したように、全体の選択率は言い換え語63.6%、外来語36.4%となり、言い換え語選択が外来語選択を大きく上回った。本アンケートで用いた語は第3回言い換え提案に挙げられている語の中から抽出したものであるが、専門的で、日常生活であまり見聞きしないような語が多かったように思える。

年代別に見ると、10~30代の言い換え語選択比率は約6割でほぼ同じ割合を示している。40代は言い換え語が6割を大きく超え、50代は約7割である。60代以上は8割を超えていた。40代を境に言い換え語の選択率が高くなっていることが分かった。

各語の選択率については、「ユニバーサルデザイン」「ステレオタイプ」は高い選択率を示し、「ハザードマップ」「フロンティア」は言い換え語と選択率にあまり差はなかった。他の語は言い換え語の方が高い選択率を示していた。60代以上はすべての語において言い換え語の方を多く選択していた。60歳以上の年代にとって外来語は苦手の領域であることがわかる。国研の「外来語定着度調査」も全体と60歳以上の2種になっており60歳以上の理解度が全体より一段低い語が多く、この世代への配慮が特に必要であると考えられる。

複数の言い換え語がある語を見ると、どの語も言い換え語の方が多く選択されていて、言い換え語と外来語の使い分けがされている語はなかった。

男女別の選択率はほぼ同じ割合を示していた。言い換え語と外来語のどちらを選択するかについても、ほとんどの語については男女による差は見られなかった。

アンケートでは外来語より言い換え語を支持する意見が圧倒的に多かったが、それに次いで多かった意見は言い換え語も分かりにくかったというもので、「法令遵守」(コンプライアンス)「万人向け設計」(ユニバーサルデザイン)「紋切り型」(ステレオタイプ)が挙げられていた。言い換えをする際には分かりやすさ、言葉の時代的変容等も考慮しなければ、せっかく言い換

えても受け入れられないことになる。

アンケートで使用した外来語の中には、辞典の初出の訳語と言い換え語が一致するものもあったが、初出の訳語に新たな訳語が加わったり、意味が派生しているものが多かった。例えば、「ミッション」は1972年の辞典の訳語は「(キリスト教の) 伝道、伝道団、布教区」のみであったが、2005年の辞典では言い換え語と同じ「使命、任務、使節団、代表団」が加わる。外来語は使われる時代背景や社会情勢の影響により多義化、派生化していくことを示していた。

#### 4. おわりに

外来語はその時代の社会的趨勢を反映して、あるものは消え、あるものは加わり、その消長はひとつの文化史を形成しているともいえる。消え去ったものももちろん多いが、その数倍もの外国語が外来語として日本語の語彙の中に入り込んでいる。「外来語辞典」の収録状況の推移を見ても、1972年の辞典では20,000語であったものが30年後の2005年の辞典では47,000語と驚異的に増加している。

個人的な場面で外来語を使用するか否かは、一般的に個人個人の判断に属する事柄であるが、人々の言語生活に大きな影響を与える官公庁や新聞・放送等においては外来語の取り扱いに慎重にならなくてはならない。受け手である一般の人々も外来語の使用の配慮を送り手に積極的に求めるべきである。さらに、国研のような組織が恒常的に外来語の導入に何らかの対策をすることが必要であると考えられる。

アンケートの意見欄の「最近めっきり新聞も外国語、外来語が多くなり辞書を片手に読んでいます」(70代女) というような世の中ではなく、外来語辞典を使わずに新聞が読めるような世の中になるように、外来語を健全に「育てる」という視点に立って日本語を豊かにしていきたいものである。

#### 【注】

1 「スポーツ欄を除く」としたのは、関根(2003)の「スポーツ欄を読むのはその競技に関心を持ち、一定の知識を持っている人が中心で、カタカナ語は文章を理解する際の妨げにはならない」という意見を取り入れた。また、「広告欄を含む」としたのは、多くの分かりにくい外来語が使用されていること、特に官公庁が掲載した広告欄に外来語が使用されていた(例えば、アイドリングストップ、アメニティー等)ことによる。

#### 【参考文献】

- 三省堂編修所(1972)『コンサイス外来語辞典』初版 三省堂  
 三省堂編修所(1976)『コンサイス外来語辞典』第2版 三省堂  
 三省堂編修所(1979)『コンサイス外来語辞典』第3版 三省堂  
 三省堂編修所(1987)『コンサイス外来語辞典』第4版 三省堂  
 三省堂編修所(1994)『コンサイスカタカナ語辞典』初版 三省堂  
 三省堂編修所(2000)『コンサイスカタカナ語辞典』第2版 三省堂  
 三省堂編修所(2005)『コンサイスカタカナ語辞典』第3版 三省堂

国立国語研究所「外来語」委員会 (2004) 『第3回「外来語」言い換え提案』

相村清安子 (2005) 「国立国語研究所『外来語』言い換え提案について」『山口国文』第28号

山口大学国語国文学会

関根健一 (2003) 「新聞の中のカタカナ語」『日本語学』22-8 明治書院

国立国語研究所「外来語定着度調査」<http://www.go.jp/public/gairaigo/Yoron/tyousa.htmlb>

(すぎむら・すやこ)

## 言葉に関するアンケート

次の文でどちらのほうをよく使いますか。例のようにひとつ選んでください。

例：二十一世紀の東アジア協力の〔 A. 原則 B. ドクトリン 〕として、アジア外交を積極的に推進する。

1. 人権が無視され、虐げられた子どもたちの現実を日本をはじめ世界中に伝えていくのが親善大使の〔 A 使命 B. ミッション 〕だと考えています。
2. 企業のこれからの重要な改革は透明性と〔 A. 法令遵守 B. コンプライアンス 〕を確保しなければいけない。
3. 各党には、大別して論憲、護憲、改憲の三つの〔 A. 立場 B. スタンス 〕がある。
4. 日本の〔 A. 発議 B. イニシアチブ 〕により、来年日欧双方においてこのテーマに関するシンポジウムを開催することになった。
5. 両社は今年2月、北九州市が仁川広域市に派遣した〔 A. 使節団 B. ミッション 〕の商談会で出会い開発を進めてきた。
6. 日本はもともと〔 A. 読み書き能力 B. リテラシー 〕が高い国。問題なのは、活字は読めるが、読書をしないことだ。
7. だれもが暮らしやすい〔 A. 万人向け設計 B. ユニバーサルデザイン 〕のまちづくりがテーマの一つだ。
8. 環境省は近く〔 A. 意見公募 B. パブリックコメント 〕で国民の意見を募る予定だ。
9. 市町村の〔 A. 主導 B. イニシアチブ 〕のもと、地域住民の参画を得て地域全体の振興計画を作成した。
10. インターネットなどITが進み活用範囲が広がることで、国民の学習機会や意欲が高まるのが期待できるし、〔 A. 情報活用能力 B. 情報リテラシー 〕を身に着けることができる。
11. 日本の企業と合弁会社をすることによって、アジアでのサウジアラビアの〔 A. 存在感 B. プレゼンス 〕を高める狙いもある。
12. 〔 A. 紋切り型 B. ステレオタイプ 〕の日本紹介や批判ではなく、等身大で日本を理解しようという努力だ。
13. 五月に発表された〔 A. 災害予測地図 B. ハザードマップ 〕は、地元の猪苗代、北塩原、磐梯の三町村での土石流や降灰などの被害を予想している。
14. その手法を用いた〔 A. 新分野 B. フロンティア 〕の開拓が様々な分野から要請されている。
15. 各都道府県に対して、災害時に地域住民が円滑かつ迅速な避難行動が行えるよう、〔 A. 防災地図 B. ハザードマップ 〕の作成等を要請しています。

(ご意見)

.....

.....

.....

次の項目にご回答願います。

性別： ( ) 女性 ( ) 男性

年齢： ( ) 代

職業： ( )

出身地： ( ) (例、北海道 )

ご協力ありがとうございました。